



令和2年度 CSR-NPO未来交流会

コロナ禍のNPOと企業の組織連携 生活スタイル様式の変化、行動変容から環境活動のヒントを探る

- 開催日: 3月3日(水)
- 開催場所: Zoom ライブ配信 参加交流
- 参加団体: 29 団体、55 名

コロナ禍において新しい組織対応が求められています。企業、NPO の活動も大きな影響があります。リアルで皆さんが集い、会話による交流が基本ですが、今や避けなければならない。コロナ感染を防止しながら 2021 年、生活行動、組織行動は、さらに新しい工夫が必要となってきました。

今回の交流会は、新しい工夫を行うための情報・意見交換をはかり、環境活動に取り組む知恵の創出と交流を図りました。Zoom の利用により今回は講演会を中心に事前アンケートのご紹介、事後のご意見のお願いなどを実施し交流につなげるステップとしました。

交流課題

- ・コロナ禍への対応による活動変化を考える
- ・データ化、連携化による活動工夫・事例から行動・活動のヒントをつかむ。

◆ プログラム

I 部 協創・連携による社会イノベーション 13:10~14:25

| | 主催者挨拶 | 東京湾再生官民連携フォーラム 議長 来生 新 |
|------|---|--|
| 講演-1 | 海洋環境にかかわる関係団体等との交流について～国土交通省港湾局の事例から～ | 国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室 室長 白井 正興 氏 |
| 講演-2 | DX・AI とは何かを知ろう -新しい活動方法のヒントを探る- | 先端技術アナリスト、DX・AI 教育アドバイザー、 成蹊大学理工学部兼任講師、日本能率協会マネジメント センター『ゼロからわかる AI の基礎』コース講師 浅岡 伴夫 氏 |
| 講演-3 | 竹芝地区における官民連携による エリアマネジメント | 一般社団法人 竹芝エリアマネジメント 事務局長 田中 敦典 氏 |
| 事例-1 | Facebook によるネットワーク化・ コミュニケーションで見えてきた 次のステップ | 東京湾再生官民連携フォーラム・ 東京湾窓 PT 特定非営利活動法人海苔のふるさと会 事務局長 小山 文大 氏 |
| 事例-2 | 双方向オンラインワークショップによる 環境学習活動 -事例紹介と試行体験- | ふなばし三番瀬環境学習館 学芸・普及チーム 科学コミュニケーター 小澤 鷹弥 氏 |



▲ZOOM 参加によるご挨拶 來生議長



▲細川事務局長 まとめの意見
情報交流会の運営事務局の会議室内



▲小澤氏 ふなばし三番瀬環境学習館
科学コミュニケーターによる事例プレゼン

<みなさまか交流会参加のみなさまらのご意見>

参加目的は、1.情報収集、2.事例に興味があり今後の参考となるから(講師テーマに興味)、3.連携できそうな組織団体の情報収集などがあがり、今後もみなさまへの“場”の提供として開催の意味を感じることができました。さらに、コロナ禍における変化、「仕事、ボランティア等の仕方やその方法に変化はありましたか」に関してはさまざまご意見が寄せられています。テレワークの実施、在宅勤務他、海水浴場未開設による監視救助活動の中止等、イベントを中止した、事業の縮小、ボランティアリーダーの参加自粛、告知の方法など、マスク着用などの一般的なコロナ対策を行うようになった、非常事態宣言に対応した活動の検討ばかりが増えた、リモートワークの導入や、会議体の形式変更等、Zoomの活用、活動時に、一般の参加者を入れない、もしくは制限した。などそれぞれ制約を受け、今後工夫をしながらの行動がうかがえる。

CSR-NPO未来交流会では、多様な交流を目指して、さらに連携ができるようにサポートしていきます。